

企画展「八王子と苦小牧～千人同心がつないだ絆～」を開催

桑都日本遺産センター 八王子博物館では、企画展「八王子と苦小牧～千人同心がつないだ絆～」を開催します。令和5年（2023）は、八王子市と北海道苦小牧市が姉妹都市となって50年です。姉妹都市の盟約が結ばれた背景には八王子千人同心の存在がありました。

寛政12年（1800）、千人頭原半左衛門胤敦は弟の新介とともに千人同心子弟100名を連れ蝦夷地の勇払（苦小牧市字勇払）や白糠（白糠郡白糠町）に移住しました。しかし、幕府の命を受けて、蝦夷地の開拓と警備を目的に海を渡った彼らを待ち受けていたのは極寒の地での厳しい生活でした。

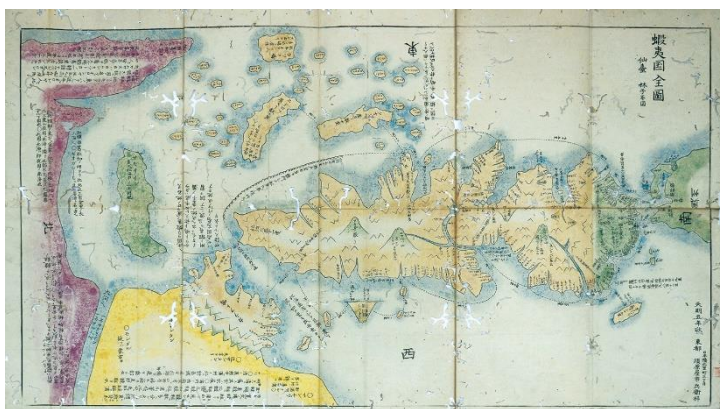
本企画展では、千人同心始まって以来の一大事業である蝦夷地移住と、当時の海外情勢や千人同心による海外研究をとりあげます。また、北方警備を通じて早くから海外に目を向けた千人同心が、幕末の八王子に与えた影響について紹介します。

八王子と苦小牧という遠く離れた二つの都市の交流の歴史と、その絆をつないだ千人同心について、理解を深める機会としていただければ幸いです。

1 日時 7月22日（土）～10月1日（日）10：00～19：00

2 会場 桑都日本遺産センター 八王子博物館（はちはく） 企画展示ゾーン
サザンスカイトワー八王子3階

3 主な展示資料



蝦夷国全図『三国通覧図説』



千人頭の陣笠（個人蔵）

<問い合わせ>

生涯学習スポーツ部文化財課長 叶(かのう)

電話042-620-7265